



かけはし

平成30年 1月 1日

ふるさと智恵文に誇りをもつ輝く智小っ子を「地域ぐるみ」で育てましょう

読書のすすめ

校長 川崎 直人

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は本校の教育活動に際しましてご理解、ご協力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。さて、2018年を迎えました。みなさまはお揃いで穏やかなお正月をお迎えでしょうか。



今年の干支は犬です。いぬといえば、今、空前のペットブームで飼われているご家庭もあると思います。また、絵本の中でも「どろんこハリー」「バム・ケロシリーズ」など、小学校でも人気の高い作品で、本校でも読まれています。

読書は子どもたちの情操を豊かにするだけではなく、言語に関する能力を育むうえで大切な活動です。学校では国語科ではもちろんですが、社会科や理科や生活科など他の教科の学習でも関連のある読み物を紹介したり、調べ学習で図書を活用したりする等、子どもたちが本と関わり読書する機会の充実に努めています。

来年度から小学校で試行される新学習指導要領では、子どもたちの思考力・表現力・判断力等のより一層の育成が求められています。思考力・表現力・判断力等の育成には言語活動を充実させていくことが欠かせませんが、読書は子どもたちの言語活動を活性化させる養分です。読書活動が充実すれば言語活動も充実し、子どもたちの様々な能力がより育まれると考えています。

本校でも学校司書の佐藤さんが様々な工夫をして読書環境を整えたり、児童会で読書月間に読み聞かせをしたりして、子どもたちが本に親しむ機会を増やしています。

読書が好きで、進んで本に親しむ子どもを育てるためには、保護者の皆様のご理解ご協力が欠かせません。読書の機会として家庭での役割が大きいからです。新しい年を迎え、冬の夜長にご家族で静かに読書なんて如何でしょうか。

今年も智恵文小学校職員一同、笑顔を大切に信じ合って助け合って、子どもたちの健やかな成長のために頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。